

株式会社グランブルー
DX戦略

2026年10月13日
株式会社グランブルー
代表取締役 落合 生嗣

DX取組宣言

私たち株式会社グランブルーは、1998年に「感動できる仕事がしたい」という思いからスタートしました。ブライダル（婚礼）、メディア（映像）、デリバリー（贈り物）の3つの部門で花やグリーンを含む様々なものを駆使し、輝きを生み出してきました。2026年8月から新しい社屋に移転し、さらなる飛躍にまい進しています。

私たちが目指す感動は、若いころ、部活や学園祭で夢中になり、喜び合い、悔しがり、仲間と抱き合い、肩をたたきあって涙するほどの感動、人のこころの動きなのです。

平成を経て、令和の時代となりました。新型コロナウイルスによる外出制限、ウクライナ危機、円安、資材高騰、人手不足、地球温暖化への対応、インターネット販売の伸び、生成AIやロボット技術の進展等、私たちを取り巻く外部環境は先の見えない状況が続いています。また、私たちの事業領域である3つの分野は、お客様の価値観の変化により求められるモノやサービスが変わってきます。

特にブライダル分野は大きな転換期を迎えており、DX認定の更新を機会として、このブライダル事業をセレブレーション事業へと進化することにしました。グランブルーの考えるセレブレーションはこれまでの冠婚葬祭の枠を超えた**“Celebration of Life（人生の祝祭）”**による感動創出です。結婚、誕生、還暦、退職、事業承継、そして人生を振り返り、大切な人に感謝を伝える日。人生には、もっと祝うべき瞬間があります。花とグリーンが持つ、人の心を動かす力を起点に、多様なパートナーとともに、一人ひとりの人生の物語を彩り、感動を分かち合う新しいセレブレーション文化を創造してまいります。

人手不足が常態化しているなかで、AIやロボットをはじめとしたデジタル技術やデータ活用が鍵になると思います。私たちはこれまでの実績や保有資産を活かし「リアル×デジタルで感動を創造」し、これまでよりもクリエイティブで、高いクオリティで、スピーディであるためにDXやGX※に取り組めます。簡単なチャレンジではないと思いますが、緻密に、かつ大胆に、自分たちの限界に挑戦することで、より大きな喜びを得たいと思っています。

※DX＝デジタル・トランスフォーメーション（デジタル技術による変革）

GX＝グリーン・トランスフォーメーション（環境に配慮した変革）

株式会社グランブルー
代表取締役 落合生嗣

経営理念・経営ビジョン

＜経営理念＞

グランブルーは「感動創造企業」である。

感動できる仕事がしたい。感動を共有する。感動を共有できる。

喜び合い、悔しがり、仲間と抱き合い、肩をたたき合って涙するほどの感動を得たい。

その感動を回りに伝播させるほどのエネルギーあふれる企業でありたい。

＜経営ビジョン＞

私たちは、セレブレーション、メディア、デリバリー業界で最もクリエイティブで、高いクオリティで、スピーディであるために、DX（デジタル技術による変革）やGX（環境に配慮した変革）によって、緻密に、かつ大胆に自分たちの限界に挑戦し続け、お客様、従業員及び社会に「幸せと感動をお届けする笑顔あふれる会社」になります。

DX戦略

私たちグランブルーは、デジタル技術やデータを活用し、経営ビジョンやビジネスモデルを実現をするために以下のようなDXを推進していきます。

戦略①セレブレーション事業の推進

これまでの冠婚葬祭の枠を超え、人生の様々な瞬間に祝福と感動を創出する“Celebration of Life（人生の祝祭）”事業を立ち上げ、連携するパートナー（式場、プランナーなど）とともに、一人ひとりの人生の物語を彩り、デジタル技術を駆使して参加者と感動を分かち合う新しい価値創造ネットワークを構築します。

◇活用するデジタル技術やデータの例：

- ①顧客からのインタビューをAIで文字おこし・整理し、人生の出来事を可視化し、テーマ、花やグリーンの演出、音楽映像、招待状を提案
- ②会場演出やグリーン、照明などの完成イメージは生成AIや3Dや動画を活用して企画を具体化
- ③連携先との情報プラットフォームを構築し、見積もり、日程調整、案件管理などを一元管理

戦略②演出資材の循環型レンタル事業の運営

倉庫に眠っている演出資材（植木、器、小道具、ライト、家具、ラグなど）を、在庫管理したうえでデータベース化し、ECサイトによるレンタル事業を開始し、映像制作会社やイベント事業者に貸し出すことで、既存資産から新たな収益を生み出します。

◇活用するデジタル技術やデータの例：

- ①写真データやQRコード、クラウドを活用した資材のデータベースを構築（写真、寸法、数量、保管場所、状態、貸出価格を登録）
- ②webカタログ・予約システムによるレンタル予約（映像制作会社用、広告撮影スタジオ用、イベント事業者用、店舗商業施設用など）

戦略③ナレッジコンテンツのデジタル資産化と生成AI活用による提案力の強化

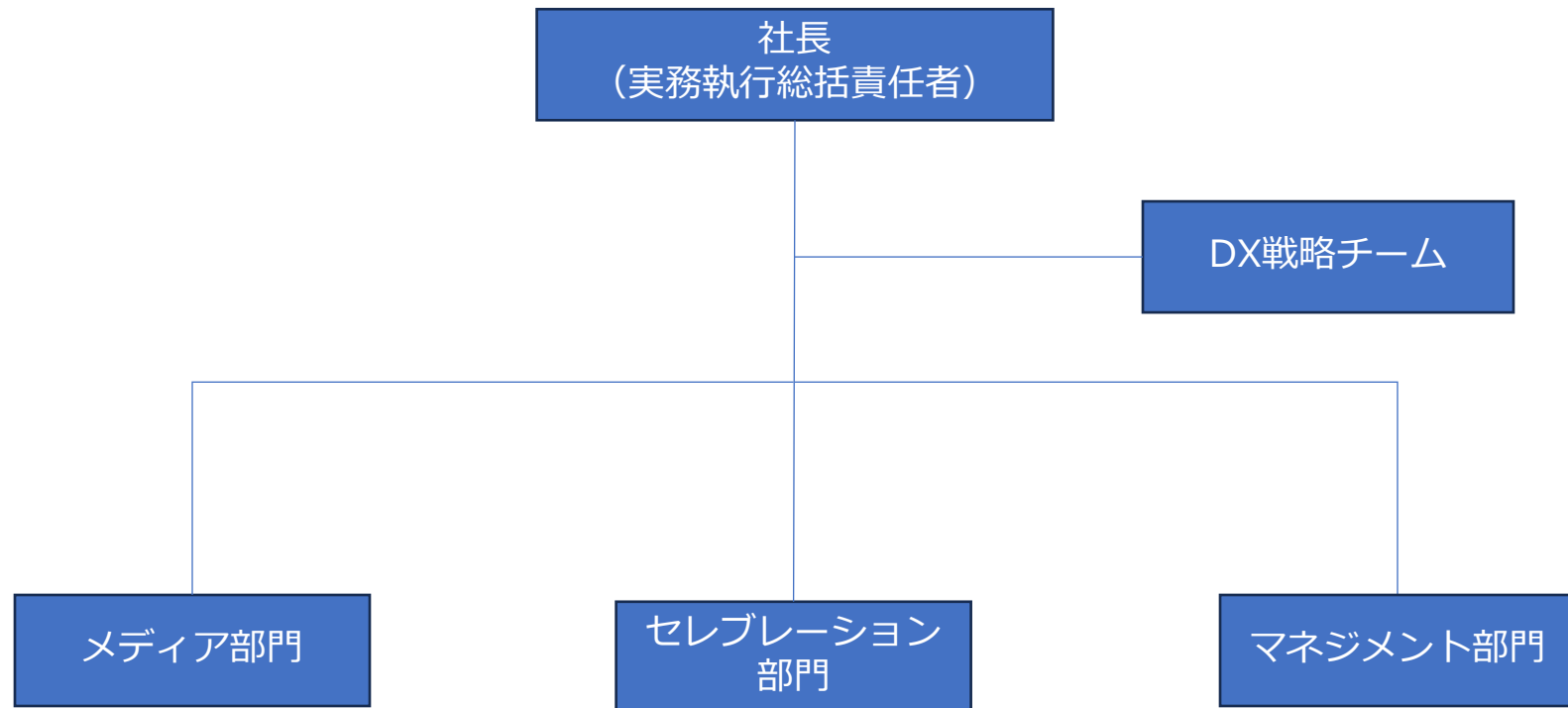
社員一人ひとりが保有する演出技術、企画ノウハウ、過去の提案事例、画像・映像等のコンテンツをデータベースで一元管理し、組織全体で共有・活用できる仕組みを構築します。さらに、生成AIによる類似事例検索や企画・提案支援、演出資材データとの連携を推進することで、顧客ニーズに応じた提案の質とスピードを向上させます。また、蓄積した知的資産を「セレブレーション事業」および「演出資材の循環型レンタル事業」に活用し、新たな顧客価値の創造と事業競争力の強化を図ります。

◇活用するデジタル技術やデータの例：

- ①過去の企画書、演出事例、写真、動画、ノウハウを一元管理（クラウドDB）、ベテラン社員のノウハウ蓄積（音声認識AI）
- ②社内の過去事例データを検索し、企画案や提案書を生成（生成AI・RAG活用）、BIツールによる提案実績、受注率、利益率、利用状況分析

DX推進体制・デジタル人材育成

株式会社グループは、社長（実務執行総括責任者）の直下に「DX戦略チーム」を設置し、定期的なミーティングを行いDX推進します。また、知識・スキルの向上を目的に、教育計画に基づいて全従業員向けにデジタル人材育成を行い、デジタルリテラシー及びAI技術の向上を目指します。



デジタル環境整備

株式会社グランブルーは、DX推進のために毎年売上の0.5%を投資します。これまで利用している既存システムを見直しながら、活用を促進していきます。また、新規システムの導入やネットワークを構築して、会社全体のDXを推進していきます。

<既存システム>

- ・ 共有サーバー及びネットワーク、バックアップ体制
- ・ データ情報共有システム（一元管理）

<新規システム>

- ・ 保有資材の在庫管理システム
- ・ 循環型レンタル事業（ウェブ注文・サブスクモデル）
- ・ 生成AIを利用した提案
- ・ 社員が保有する演出技術、企画ノウハウのデータベース

目標値（KPI）

DX戦略の達成状況を測る指標として下記を定めます。実行計画を立案したうえで、取り組みを行い、各部署ごとに目標値の達成状況を月1度評価を行いながら目標達成できるようPDCAサイクルを回していきます。

DX戦略	取り組み内容	時期	目標値
戦略① セレブレーション事業の推進 “Celebration of Life （人生の祝祭）”	“Celebration of Life（人生の祝祭）”事業を立ち上げ、連携するパートナー（式場、プランナーなど）とともに、一人ひとりの人生の物語を彩り、デジタル技術を駆使して参加者と感動を分かち合う新しい価値創造ネットワークを構築	2030年までに	◇セレブレーション事業構築 2027年まで ◇連携先の開拓 20件 事業開始（2030年） ◇新規案件開拓 100件／年
戦略② 演出資材の循環型レンタル 事業の運営	■ イベントや舞台で利用した資材などに付加価値をつける循環型ビジネスのしくみ創り ■ 在庫管理と提供できる商品のデジタルカタログ提示、ECレンタル構築	2028年までに	◇利用資材の在庫管理及び電子カタログの作成 ◇ECサイトとビジネスのしくみ創りとサービス提供
戦略③ ナレッジコンテンツのデジタル 資産化と生成AI活用による 提案力の強化	■ 従業員のもつナレッジのデジタル資産化 ・ 過去データの一元管理・データベース構築 ・ 生成AI・RAG導入による検索の高度化 ■ 生成AIを活用した提案の促進、BIツールの導入とデータ分析	2028年までに 2028年までに	◇ナレッジデータベース構築 ◇提案営業に占める割合 100%

社長（実務執行総括責任者）メッセージ

株式会社グランブルーの落合です。

私たちは「感動創造企業である」ことをめざして、日々DXを推進しています。

昨年、私の父が亡くなりました。あわただしく身内で葬儀を終えたものの、生前、父がお世話になった皆様にはちゃんとしたお別れの機会を設けられなかったことが気がかりでした。少し落ち着いてみると、友人とか知人とかお取引先とかをお招きして故人をしのぶ会があってもいいなと思い始めています。やはり人と人のつながりは、大切だと思うからです。

一方、コロナ禍以降、冠婚葬祭は小規模化が進んでおり、人々の価値観やライフスタイルも大きく変化しています。少子高齢化が進む日本では、こうした傾向は今後も続くと考えられます。だからこそ、これまでの常識にとらわれない感覚と解釈で新しい文化、生活様式を創り出す時期に来ているのではないのでしょうか。

このような想いから **“Celebration of Life（人生の祝祭）”**という新たな事業構想が生まれました。

結婚式や葬儀といった従来の冠婚葬祭の枠を超え、人生のさまざまな節目や人と人とのつながりを祝福し、感動を分かち合う新しい文化を創りたいと考えています。最近でいえばフェス・コミュニティイベントのように人々が自然に集い、交流できる場づくりです。

この取り組みは、自社だけでは実現できません。多くの幅広い協力企業やプランナーなどの専門家との連携により生み出すことができると考えています。そして、それをサポートしてくれ、増幅させ発展させてくれるAIの出現により、人の感覚を文字、画像、イメージに可視化しスピーディに実現することが可能になりました。これらの素晴らしいツールを使わない手はありません。

また、これまで使用してきた多くの演出資材やナレッジもデータとして一元管理し、共有・活用することで新たな価値や収益を生み出す経営資源へと変えていきます。

お客様に本物の感動をお届けするためには、社内のメンバーの豊かな感性や、社会や環境ニーズを理解する広い視野、価値創造に向けた柔軟な対応力が必要です。そのために、従業員一人一人がDXの取組を自分事としてとらえ、新しいことに前向きに挑戦し、感動をお届けできるような仕事を通して、わくわくする未来を切り開くことができるスキルとマインドの醸成を図っていきます。

グランブルーは、DX（デジタル技術による変革）やGX（環境に配慮した変革）によって、緻密に、かつ大胆に自分たちの限界に挑戦し続け、お客様、従業員及び社会に「幸せと感動をお届けする笑顔あふれる会社」になります。グランブルーのDXにご期待ください。

2026年10月13日

株式会社グランブルー

代表取締役 落合生嗣